

フィルム保存機関一覧(国立映画アーカイブのリンク先中、公立又はそれに準ずる施設)

施設名	所蔵資料の概要	公開方法			貸出可否	備考
		方法	座席数	頻度		
国立国会図書館	大半が映画。全体目録の出力が困難なため、地域映像等の所蔵割合は推測不能	音楽・映像資料まで利用者個別に視聴、視聴用機器は、館設置のものに限られる	不明	月～金 9:30～19:30 土 9:30～17	不要	否
国立映画アーカイブ	大半が映画(うちニュース約20%)	期間を決めた映画の館内企画上映	310	約10企画/年	520円/所蔵作品	否
福岡市総合図書館 フィルムアーカイブ(映像資料課)	国外分は大半が映画、国内分のうち、約1/3程度は記録映像の可能性あり	映像ホール シネラで安価な料金で上映 ※これは美術館での通常の常設展と異なり	242 49	毎水～日	映像ホール シネラ、要 モニター：無料	否
京都文化博物館 (公財)京都文化財団	情報なし	通常は、開館日1日2回所蔵作品上映 R元.6月は25作品を企画上映	情報なし	開館日2回/日	500円	否
神戸映画資料館 (一社)神戸映画ネットワーク	劇映画、ドキュメンタリー、アニメ、ホームビデオ等 約16,000本	R元.6月は、土、日に12回上映	38	情報なし	無料～1,800円/作品	否
広島市映像ライブラリー 指定管理(公財)広島市文化財団	教育、啓発系資料、文化映画など	名作映画鑑賞会、文化映画鑑賞会、 外国映画鑑賞会等、 利用者個別視聴(館設置機器)	169	R元.6月は20回	ホール：380円～510円 ヒアコナー：100円/0.5	可
川崎市市民ミュージアム ※博物館、美術館の複合文化施設	情報なし	映像ホールで概ね月単位で作品を上映	270	2018:15作品 2017:12作品	600円/作品	否
沖縄県公文書館	米国記録映像(戦中)全130件 米国記録映像(戦後)全102件	合計232件が、インターネット配信、ID等不要 他に館内講堂での上映会あり	80	情報なし	無料	-
北海道立図書館	①1960年代の道内の市町村を紹介したもの ②1960年代の道内の観光地を紹介したもの ③1960年代から70年代にかけてのアイヌの人々生活文化を紹介したもの ④戦前の北千島の様子を撮影したもの ⑤1950年代の戦後開拓を記録したもの	北海道150年事業として道立図書館が 所蔵する16mmフィルムから115作品を 選りDVD化したもの ・ほとんどが図書館や学校への貸出が可能 ・個人への貸出が可能なものもあり ・①の3分間保存フィルム65作品は、同館HP 「北方資料室 デジタルエクス展」で視聴可	-	-	-	可

各機関ウェブサイトより

国立国会図書館、国立映画アーカイブ、福岡市総合図書館、京都文化博物館、神戸映画資料館、  
広島市映像ライブラリー、川崎市市民ミュージアム、沖縄県公文書館、北海道立図書館